

小平市立学校給食センターの太陽光発電設備

小平市では、昭和 57 年から稼働している学校給食センターの建て替えを行い、令和 5 年 2 月より新しい学校給食センターの稼働を開始しました。建設に際しては、東京都建築物環境計画書制度に準拠し、エネルギー使用の合理化、資源の適正利用、自然環境の保全、ヒートアイランド現象の緩和等、地球環境への負荷の低減に取り組んでいます。

太陽光パネルの設置

本センターでは再生可能エネルギー設備として、太陽光パネル 36 枚（最大総出力 10kw）を屋根上に設置しています。発電された電力は、同センターの電力に供給され、商用電力と混合利用（施設の総使用電力に対し、太陽光発電により年間約 1.8%の電力を補填）しており、経費の節減を図ることができます。



〈学校給食センター外観〉



〈太陽光パネル（京セラ・KK300P-5EL3C5）〉

発電量の見える化

本センターの利用者が省エネルギーへ関心を持つことができるよう、発電データの計測装置と、発電量をリアルタイムで表示できる液晶モニタを玄関ホールに設置しています。

これらの機材を活用しながら、省エネルギーに配慮したセンター運営を進めていきます。



〈玄関ホール〉



〈液晶モニタ〉